



(Education Exchange Community)

EEC 東日本大震災教育支援募金活動報告 (Ⅶ)

〒028-3603

岩手県紫波郡矢巾町西徳田 7-7

高 館 千 枝 子

Tel/fax : (81) 019-697-3851

Mail:tchieko@cocoa.ocn.ne.jp

「EEC から唐丹へ そして 唐丹から EEC へ」

— 広がりつつある支援の輪 —

7月から支援者となり、8月には唐丹町を含む三陸一帯の被災地を訪問し、EEC 募金活動を支援し、積極的に支援の輪を広めて下さろうとしている方の呼びかけで支援金と共にメッセージを Mail で寄せて下さった方がいらっしやいます。ご紹介します。

「堀 泰雄さん、玉江さんに現役時代にお世話になった群馬県の元高校教師です。このたびの震災、及び人災で未曾有の混乱が続いておりますが、わずかなお金を公的支援に送るのが精一杯でした。

特に日赤などの活動状況に腹も立ち、直接お役に立つ方法が何かないかと考えておりました。どなた(あるいはどの地域)を最優先という

あてもなく、特に子供達を支援できれば、と考えるばかりで時間が過ぎておりました。今回、堀さんから紹介され、これなら私も参加させて頂けると、口座に振り込ませていただきました。この国の子供たちの行く末がことのほか気になる昨今です。お金では解決できない事もたくさんありますが、お金がなければどうにもならないのも現実です。

実際にその場でご苦労されている方々を遠くから偲ぶばかりで、はがゆい思いをしております。子供達が困難を乗り越え、人間を信じ、自分の足で歩む一助になれば幸いです。難病の尊喜ちゃんのことでも気がかりですが、医療費も高額のご様子、支援の輪が広がり、せめて一時でもご家族の皆様が介護に専念されるよう祈っております。」(群馬県在住、60代女性)



【藪欄 photo:高館】

とうに
岩手県釜石市唐丹訪問記

(2011年8月30日訪問)

群馬県前橋市 堀泰雄 69歳 (元教員)



【崩壊した唐丹小学校】

それが今は、家の土台の痕跡がわずかに残るだけの更地状態である。

国道45号線で、熊の木トンネルを過ぎるとすぐ、唐丹小学校がある地区に出る。そこは、国道と海に囲まれた小さな区域だ。どん詰まりに3階建ての小学校があるが、3階まで浸水したらしく、隣の体育館とともに使用不能の状態。区域は、上から数えたところでは30軒くらいの集落かなと思ったが、実は約90軒あったという。

国道を更に行くと、中学がある小白浜という地区がある。海岸に沿って12.5メートルの防潮堤が立っていたが、椅子型の防潮堤が2つ前のめりに内側に突っ伏している。背もたれ側に倒れるのならわかるが、前のめりになっていることで、津波の強さがわかる。津波はこれ乗り越えて進入したのだ。高台の中腹までは、何も残っていない。中学校に寄り、校長先生に面会する。



【藤館茂校長と筆者】

以下藤館茂校長の話。

3月11日、大地震のあと、漁協から、唐丹湾の水位が下がり、海底まで見えるようになったと連絡があり、地域の方々とともに高台へ避難した。津波は第一波で、12.5メートルの防潮堤を破壊し、さらに2波3波と押し寄せた。波は、渦を巻いてせりあがってきた。



【運動会の余興練習に励む生徒】

それで、地域の下半分は、すべて津波に持っていかれた。修学旅行は無理だとの判断で延期した。その後、東京近辺在住の唐丹町出身の方々が『修学旅行費を全額負担するから是非、修学旅行を実施して良い思い出を作りたい。』とのありがたいご支援をいただき、11月には東京へ修学旅行をする予定。

9月6日に、運動会があるので、地域の方々への感謝も込めて是非成功させたい

私は、唐丹の出身者が、修学旅行の費用をみな持つ、という話を聞いて、感動で涙がこみ上げてきた。校舎は地震のために使用が危険になり、生徒たちは体育館を仕切った「教室」で授業を受けていた。体育館と校庭では、生徒が、体育祭の出し物らしいものの練習をしていた。校長室には、次の誓いが貼ってあった。

がんばろう唐丹中 5つの誓い

- ・ **口**は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- ・ **耳**は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう
- ・ **目**は、人のよいところを見るために使おう
- ・ **手足**は、人を助けるために使おう
- ・ **心**は、人の痛みがわかるために使おう

校訓は「不撓不屈」だった。何回も津波の被害に遭ってきたこの地方は、そのたびごとに、この言葉を胸に復活してきたのだろう。

この誓いと校訓を読んで、私は確信した。生徒も地域の人も、きっとこの大災害から立ち直るだろうと。そして、私も強く思った。それに力を貸していきたい、と。



【崩落したままの小白浜の堤防】



【運動会で使われる はんてん】

第1回唐丹復興

〔唐丹小中学校運動会〕

台風12号が停滞し、子供達が一生懸命準備してきた運動会の実施が危ぶまれる中、晴れるまで延期し、9月3日の予定を9月6日に延期し無事、終了しました。

実施するために先生方はグラウンドにたまった水を泥にまみれながら総出でかきだし、整備にあたられたそうです。

運動会 地域に元気

釜石・唐丹小 合同で、住民も参加

津波で校舎が被災した釜石市の唐丹小(青森県釜石市)と唐丹中(青森県釜石市)が、6日、同市の平田運動公園野球場で合同運動会を行った。子どもたちは元気いっぱい競技に挑み、地域住民を勇気づけた。

グラウンドは前日から降り続いた雨でぬかるんでいたが、住民らが早朝からポンプ4台を使って排水し、会場を整えた。唐丹中の伝統で、グラウンドの周囲には地域から借りた大漁旗が大量に掲げられた。

住民約100人が見守る中、唐丹小の赤組キャプテン大沢優花さん(6年)、白組キャプテン鈴木凱貴君(同)、唐丹中の赤組団長鈴木幸宏君(3年)、白組団長長西敬太君(同)の4人が、大震災でつらい思いをしたが、たくましく生きていくことを誓った。今日は唐丹地域のためにひた向きに一生懸命競技することを誓います。と力強く選手宣誓した。

児童生徒はリレーや組体操、騎馬戦など、競技に元気いっぱい取り組んだ。

現在、唐丹小は平田小を間借りして、唐丹中は体育館で授業を行っている。

釜石市は、沿岸部の被災校、一般小・中・高、一級河川で、女性の目撃者など、被災校の支援に当たるほか、物資を配布するなどの活動を行っている。

谷根一郎理事長ら5人が、唐丹小を訪れ、菅野洋樹校長にがんばれ、日本がんばれ、東北がんばれ、と応援メッセージを送った。

釜石市は、沿岸部の被災校、一般小・中・高、一級河川で、女性の目撃者など、被災校の支援に当たるほか、物資を配布するなどの活動を行っている。

【2011年9月7日(水)岩手日報掲載記事】

開会の挨拶

唐丹小学校 児童会長
小久保 祐里

3月11日の東日本大震災により、唐丹小学校は大きな被害を受けました。しかし、全国の方々から、鉛筆、消しゴム、ノート、リコーダーなど個人で使うものから、綱引きの綱や玉入れの道具など運動会用品までたくさんの支援物資をいただき、今は平田小学校で勉強する事ができています。とても感謝しています。また、自衛隊や全国の警察の皆さんにも感謝しています。

今日は運動会。



私たち6年生にとっては小学校生活最後の運動会です。

もしかしたら大きな行事はもう出来ないかもしれないと思っていましたが、お家の方や地域の皆さんのおかげで運動会の日をむかえ、とても嬉しいです。

小学校のスローガンは

「唐丹に元気と
笑顔を届けよう！」

私たちにはがれきの撤去などおおきな仕事はできませんが、**元気**なら負けません。たくさんの方々に感謝の気持ちを込めて、今日は元気いっぱいがんばり、

皆さんに必ず笑顔を届けます。

会場の皆さん、ご声援をよろしく申し上げます。



閉会の挨拶

唐丹中学校 生徒会会長
上野 岬 希

今日の運動会お疲れ様でした。土曜日、日曜日は天気が悪く今日に延期となりました。朝は雨も降っていましたが、無事に行うことができました。

今年度の運動会は、震災の影響で行うことが出来るか心配でしたが、唐丹復興のシンボルとして開催することが出来ました。運動会が開催できたのは、唐丹駐在所連絡協議会の皆さん、地域の方々、唐丹児童館・小学校の児童や先生方、中学校の生徒や先生方のお陰です。さらに平泉から炊き出しに来て下さった『歩こう会』のみなさん、大阪府警の皆さんのおかげでさらに盛り上がりました。

唐丹小学校児童会スローガン『唐丹に元気と笑顔を届けよう！』は、小学生の皆さんの力で唐丹がさらに、元気に、笑顔になることができました。

唐丹中学校生徒会スローガン

『竜壤虎搏～俺たちは負けない～』は、両組団が激しくぶつかり合うことで、自分たちの思いが伝わったと思います。

唐丹の復興に向けてこれからも、みんなで笑顔と絆を大切にしながらがんばっていきましょう。

これで、唐丹復興第1回唐丹小中学校運動会を終わります。

【9月1日から9月31日までの支援者50名 通帳記帳通りの表記で記載】

城戸誠、城戸梢、荒川萃代、齋 巖、松岡喜美子、亀田好子、及川登美子、伊藤務
タナカヒデオ、伊藤富美子、星 司、下村達志、安東マチ、狩野喜美子、高木道子
右原君江、三瓶圭子、アラヤマサオ、吉川良子、関 鉄郎、高館千枝子、吉田朋子
佐々木由美子、橋谷治、菅原光江、シミズミノル、菊地法子、堀玉江、中村佐智子
中澤礼子、山田涼子、宮本満里子、矢尻操江、本木英子、川嶋千枝子、田沢洋子
葉山ヨシ、丸 政、中澤哲、高橋則子、豊中朝子、タムラハルコ、タケハナトシカズ
須釜菜穂子、北川昭二、廣澤三子、スズキタモツ、前澤和子、岡田昭子、カナイチヅル

【山田尊喜ちゃんのこと】

尊喜ちゃんは1年5ヶ月の入院生活を終え、9月9日に退院しました。
現在、通院しながら治療を続ける療養生活を送っています。

【生活支援物資送り先】

〒026-0041

岩手県釜石市上中島町3-4 上中島仮設住宅29-5

長谷川 芳枝 宛 (Tel : 080 5565 0145)

(お願い)

- ・ 生活用品を送って下さる方は事前に TEL 確認してからお願いします。
- ・ 岩手の美しい秋はほんの一瞬、11月も中旬を過ぎると冬が足早にやってきます。
- ・ 温かい冬物寝具、衣料品等を心がけてお送りいただければ幸いです。
- ・ 僅かでも各地の特産品も嬉しいのでは…と思います。
- ・ どうぞ、被災者の皆様に温かい志をお届けいただきたいと思います。

【広めよう！支援の輪】

- ・ 今月は支援者が支援を呼びかけてくださり、募金者がグット増え今月の支援者数50名で過去最高です。心から感謝しております。有難うございました。
- ・ 支援の輪を広める働きをして頂ける方は E-Mail を下さい。EEC 通信、募金趣旨書等を自由に活用し呼びかけて頂きたいと思います。必要な方には送信致します。
E - Mail を活用し積極的に支援の輪を広めて頂きたいです。
- ・ EEC 通信の感想を積極的にお寄せ下さることを希望します。
唐丹小中学校の児童、生徒の活動への応援メッセージ、寄稿者へのメッセージ、EEC 教育支援募金活動を活発にするためのアイデア…などを気軽にお寄せ下さい。
今後の EEC 通信に掲載し、お互いの心の交流を図る事を目的とします。お待ちしております！

EEC 東日本大震災教育支援募金プロジェクト

EEC 通信 17 号

2011 年 9 月 30 日発行